

ヒアリング質問事項

(平成14年9月17日提示)

1 市場の概念について

市場の画定に当たっては、どのような要因をどのように考慮すべきか。例えば、以下のような項目についてはどう考えるか。

(a) 利用者サイドから見た需要代替性、事業者サイドから見た供給代替性によるサービスの同一性

例えば、加入電話とIP電話のように、利用者にとっては代替的であっても、事業者にとっては別商品と考えられるものをどう捉えるのか。

(b) ユーザの属性による市場の区分

例えば、利用者がマスユーザかビジネスユーザかによって、商品によっては市場を区分して考えることが適当であるか。

(c) 地理的市場の区分

例えば、全国で捉える場合と地域別に捉える場合では、競争の状態は異なることが考えられるが地域別に捉える手法はあるか。

(d) 市場のくくり方の大きさ

市場のくくり方が大きいと、競争状態が過大に評価されないか。逆に小さいと、競争評価自体が市場のかく乱要因となってしまう可能性はないか。

(e) 独禁法の市場画定との関係

独禁法の市場の画定の考え方・手法をどのように生かせるか。

2 競争評価手法について

競争の評価に当たり、どのような要因をどのように考慮すべきか。例えば、以下のような項目についてはどう考えるか。

(a) 市場の成熟度

市場の成熟状況は、競争の評価に当たってどう勘案すべきなのか。

(b) 代替サービスとの関係

例えば、サービス間の代替性が一部の機能に限られているような場合には、どう評価するのか。

(c) 他市場で有する市場支配力の影響

例えば、レパレッジ、垂直統合、内部相互補助の影響等をどう考えるか。

(d) 設備保有に対する規制（接続規制等）のサービス市場への影響

例えば、設備保有、接続規制等のサービス市場の競争状況への影響をどう考えるか。

定量的な評価モデルは構築可能か。

シェア等のようなデータをどのように評価することによって定量化が図れるか。

独禁法の競争評価との関係

独禁法の合併審査等においては市場の競争環境へ与える影響が勘案されているが、その考え方・手法を、今回の競争評価にどう生かせるか。

3 その他留意すべき事項

評価手法の要件のプライオリティはどうか。例えば、以下のようなものはどうか。

(a) 手法の透明性

(b) 評価プロセスの透明性

(c) 手法の柔軟性

(d) 評価の技術中立性

情報収集の現実性

競争評価に当たっては、事業者から評価に必要なデータ提供が不可欠なものとなるが、どのようなデータが必要か。また、その際、企業機密情報の取扱いなど、手法の確立に当たり留意すべき事項は何か。

海外事例

英国等海外の競争評価事例等の背景、目的、沿革等を踏まえつつ我が国の事例との対比においてその類似点、相違点を論じることは有意義であり、そうした事例を踏まえた競争評価のあり方を検討していくことが重要である。この点に関連し、海外事例等に知見ある事業者等からの情報提供を期待したい。

競争による利益の還元

競争を促進することによって、利用者の選択肢の拡大、価格の低廉化、電気通信市場自体のパイの広がり、電気通信を用いた他産業の活性化等により、最終的には利用者に対して利益の還元がなされるとが期待される一方、利用者の利便性を軽視した形での競争激化ということも想定される。競争状況を評価するにあたり、競争の利益の還元という視点を、どのような形で組み入れることが可能か。

4 その他

本研究会の議論にあたり、上記論点に限らずご意見があればお願いします。